

補助事業番号 2020M-018
補助事業名 2020年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 日本赤十字社

1 補助事業の概要

介護にかかわる看護師、介護福祉士等の移乗介助や入浴介助時での無理な姿勢による腰への負担を低減することで、利用者へより安全で安心な介助を提供すると共に労働環境改善を図る。また、人員不足の中、職員の平均年齢も上がってきており、長く業務が続けられることと離職防止にも役立つ。

2 予想される事業実施効果

介護に関わる、看護師、介護職員の移乗介助や入浴介助時の無理な姿勢による腰への負担を軽減することで、労働環境の改善と利用者へより安全なサービスを提供することが可能になると考える。また、腰などの身体的負担を少しでも取り除くことで、職員の離職防止や新規採用等に役立てることが可能であり、将来的にも職員確保ならびに労働環境の整備にも大いに寄与していくと考える。

事前計画においては介護を行う者への負担軽減を期待して購入したが、当機器には介護支援だけでなく、利用者の自立支援用の機能も搭載されている。今後、利用者による自立支援を目的とした用途でも使用も積極的に実施していく予定である。

3 本事業により導入した機器

① 介護ロボット（HAL腰タイプ介護・自立支援用）HAL-BB04-SSSJP

<https://www.taka.jrc.or.jp/2020/12/kaigo-robot/>

当機器を装着することにより、被介助者をベッドや車いすへ移乗介助する際に起こる介護に関わる職員の体（腰）への負担が軽減され、より安全確実に業務を遂行できる。また、離床の機会が増えることにより、寝たきり予防やADLの向上、被介助者の自立に繋がり、在宅復帰の可能性が高くなると考える。



導入機器



建物の標識表示

設置場所：【多可赤十字病院】

② 本事業に係る印刷物等

・「広報たか」(2021年1月号)

多可赤十字病院からのお知らせ

介護ロボット
を導入しました

多可赤十字病院 ☎(32)1223
<http://www.taka.jrc.or.jp/>

令和2年度(緊急)補助事業により、多可赤十字老人保健施設に介護ロボット(HAL)導入・自立支援用)を導入しました。この介護ロボットは、装着することで腰部にかかる負担を軽減することが可能です。これにより、介護作業者の腰痛を引き起こすリスクを軽減させる機能に加え、足腰の弱った利用者の方の体幹・下肢機能の向上のための訓練にも役立てることができるといいます。

多可赤十字病院および老人保健施設では、多可町唯一の公的医療機関として、これからも住民の皆さんの健康増進、疾病予防に役立よう努めてまいります。当院ホームページの病院からのお知らせコーナーにも介護ロボットについて情報をアップしてまいりますので、ぜひご覧ください。

今回の導入により、介護を受けられる利用者の皆さんに、より安全で安心なサービスの提供が可能となると考えています。

多可赤十字病院および老人保健施設では、多可町唯一の公的医療機関として、これからも住民の皆さんの健康増進、疾病予防に役立よう努めてまいります。当院ホームページの病院からのお知らせコーナーにも介護ロボットについて情報をアップしてまいりますので、ぜひご覧ください。

講習のご案内

下記のとおり、講習会を開催します。参加希望の方は、当院までご連絡ください。

【知って・支える「認知症」】
と き 2月26日(金)午後2時～4時
と ころ 多可赤十字病院
申込期限 1月12日(火)～2月12日(金)まで
※事前により中止になる可能性があります。
※詳細はホームページをご覧ください。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 日本赤十字社 (ニッポンセキジュウジシャ)

住所： 〒105-8521

東京都港区芝大門1丁目1番3号

代表者： 社長 大塚 義治 (オオツカ ヨシハル)

担当部署： 総務局 財政部 契約課 (ソウムキョク ザイセイブ ケイヤクカ)

担当者名： 主事 尾崎 史歩 (シュジ オザキ シホ)

電話番号： 03-3437-7076

F A X： 03-3433-8525

E-mail： <mailto:keiyaku@jrc.or.jp>

U R L： <https://www.jrc.or.jp>